

実証試験技術グループ

国際規格に適合した品質システムで信頼性を確保

ISO/IEC 17025 に基づく品質システム

実証試験技術グループでは、ISO/IEC 17025(JIS Q 17025)「試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項」に基づく品質システムを構築し、登録認定機関(IA Japan: 独立行政法人製品評価技術基盤機構 認定センター)から認定を受けています。品質マネジメントの他、技術能力についても審査の対象となっているため、結果に対しより高い信頼性が確保されています。

計量法校正事業者登録制度 JCSS(Japan Calibration Service System)

計量法校正事業者登録制度は、計量法関連法規及びISO/IEC 17025の要求事項に基づいて、計測器の校正を実施する適切なマネジメントシステムと校正方法、不確かさの見積もりなど技術能力を審査されます。JCSS 標章のついた校正証明書は計量計測トレーサビリティの確保された信頼ある校正結果であることの証明となります。



JCSS
JCSS 0184

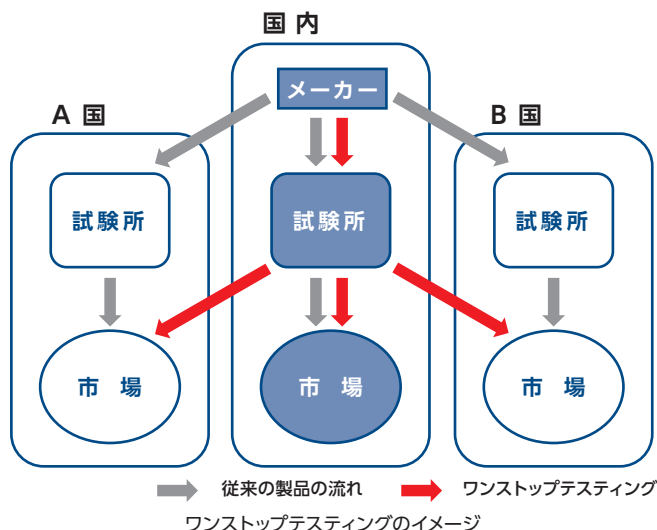
都産技研は、認定基準としてISO/IEC 17025 (JIS Q 17025) を用い、認定スキームをISO/IEC17011に従って運営されている機関の下で認定されています。認定機関 (IA JAPAN) は、アジア太平洋認定協力機構

(APAC) 及び国際試験所協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。

都産技研は、国際MRA対応JCSS認定事業者です。JCSS 0184は都産技研の認定番号です。

国際相互承認によるワンストップテスト

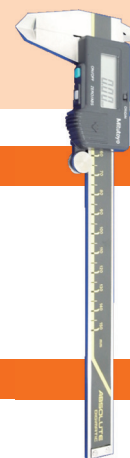
ILAC-MRA(国際的な相互承認取決)対応認定を受けているため、実証試験技術グループで発行する校正証明書は国際的な受入が可能となっています。したがって国内基準に基づく試験に加え相手国の規準に基づく試験を受ける必要がなく、ワンストップテストによる時間と費用の節約になります。



JCSS 計測器のトレーサビリティの証明

このようなときにご利用ください

- ・納入先からトレーサビリティの証明を要求されたとき
- ・ISO9000シリーズをはじめとした各種規格認定取得に際して、計測器のトレーサビリティを証明したい
- ・お持ちの計測器が正しく測れているのか心配
- ・測定値の精度を知りたい



電気

校正手法の区分: 直流・低周波計測器等
 種類: 直流抵抗器
 校正範囲: 1 Ω、100 Ω、10 kΩ



温度

校正手法の区分: 接触式温度計
 種類: 熱電対 (比較校正法)
 校正範囲: 200℃以上1000℃以下



長さ

校正手法の区分: 一次元寸法測定器、形状測定器
 種類: ブロックゲージ/各種長さ測定用校正器で測定面が平面であるもの/
 座標測定機用ゲージ/リングゲージ/プラグゲージ/ノギス/マイクロメータ/
 ダイヤルゲージ/てこ式ダイヤルゲージ/シリンダゲージ/デプスゲージ/
 ハイトゲージ/ダイヤルゲージ校正器/伸び計校正器/

校正範囲:

ブロックゲージ	0.5 mm以上 250 mm以下
各種長さ測定用校正器で 測定面が平面であるもの	1010 mm以下
座標測定機用ゲージ	1010 mm以下
リングゲージ	10 mm以上 200 mm以下
プラグゲージ	1 mm以上 200 mm以下
ノギス	600 mm以下
マイクロメータ	100 mm以下
ダイヤルゲージ	100 mm以下
てこ式ダイヤルゲージ	1.6 mm以下
シリンダゲージ	6 mm以上 400 mm以下
デプスゲージ	300 mm以下
ハイトゲージ	1000 mm以下
ダイヤルゲージ校正器	25 mm以下
伸び計校正器	100 mm以下

その他、出張でのJCSS取得支援やセミナーなども承っております。ご相談ください。